

東証1部 4929

ADJUVANT

株式会社アジュバンコスメジャパン

2019年3月期1Q

2018年7月20日



- I. サマリー
- II. FY19 1Q連結業績
  - 1. 損益計算書、増減要因
  - 2. 区分別売上高、増減要因
  - 3. 貸借対照表、増減要因
- III. 今後の取組み
  - 1. 通期計画、取組み
  - 2. 区分別売上高計画、取組み
- IV. 参考情報
  - 1. サマリー実績推移

## 1Qの状況

## 減収減益(前年同期比)

### 【売上面】

- ◆ヘアケア製品が好調(自社処方開発のクラスSの販売スタート)
- ◆昨年ラインアップしたDJシリーズが1年経過したことによる一服感
- ◆子会社エクシードシステムの売上が減少

### 【経費面】

- ◆販促費、荷造運搬費、人件費の増加

## サマリー②

	FY18 1Q	FY19 1Q	増減率	FY19計画 (4/20発表)	計画進捗率
売上高(百万円)	1,334	1,288	▲3.5%	5,274	24.4%
営業利益(百万円)	198	52	▲73.6%	228	22.8%
売上高営業利益率	14.9%	4.1%	▲10.8pt	4.3	▲0.2pt
アジュバンサロン数	7,392	7,034	▲358軒	—	—

# FY19 1Q連結業績 損益計算書

(単位:百万円)	FY18 1Q		FY19 1Q			FY19 2Q計画	
		構成比		構成比	増減率		2Q計画に 対する進捗率
売上高	1,334	100.0	1,288	100.0	▲3.5%	2,641	48.8%
売上原価	479	35.9	515	40.0	7.6%	989	52.1%
売上総利益	854	64.1	772	60.0	▲9.7%	1,652	46.7%
販管費	656	49.2	719	55.9	9.7%	1,498	48.0%
営業利益	198	14.9	52	4.1	▲73.6%	153	34.0%
経常利益	198	14.9	60	4.7	▲69.4%	159	37.7%
親会社に帰属する 四半期純利益	123	9.2	32	2.6	▲73.2%	94	34.0%

## 売上

- ◆ 子会社売上が前年同期より減少
- ◆ ヘアケア新シリーズが好調

## 原価

- ◆ 子会社の売上原価率が上昇したため、全体の原価率も上昇

## 販管費

- ◆ ヘアケア新シリーズに関する販促費の増加
- ◆ 運送会社の値上げ等による荷造運搬費の増加
- ◆ 研究開発費の増加

# 区分別売上高

(単位: 百万円)	FY18 1Q		FY19 1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	増減率
売上高	1,334	100.0	1,288	100.0	▲3.5%
スキンケア	548	41.1	435	33.8	▲20.5%
ヘアケア	573	43.0	761	59.1	32.7%
その他	290	21.8	175	13.6	▲39.6%
売上割戻金	▲77	▲5.9	▲84	▲6.5	—

# 区分別売上高 増減要因

## スキンケア

- 前期上市したDJシリーズが1年経過し一服感を持ち売上減少

## ヘアケア

- 期初に上市したクラスSシリーズが好調
- クラスSと既存のReシリーズとのカニバリの影響が想定よりも小さかった

## その他

- エクシード社売上が減少

## 売上割戻

- 店販売上が堅調のためサロン、代理店への割戻金が増加



# 貸借対照表

(単位:百万円)	資産の部			負債の部・純資産の部		
	FY18	FY19 1Q	増減率	FY18	FY19 1Q	増減率
流動資産／流動負債	3,324	3,262	▲1.9%	719	825	14.6%
固定資産／固定負債	2,550	2,573	0.9%	491	508	3.5%
資産合計／負債合計	5,874	5,835	▲0.7%	1,211	1,333	10.1%
／純資産合計				4,663	4,502	▲3.5%
／負債純資産合計				5,874	5,835	▲0.7%

# 貸借対照表 増減要因

## 総資産

前期末比▲38百万円

- ◆ 売掛金が27百万円減少
- ◆ 新ヘアケアシリーズ上市に向け期末に準備していた在庫が好調な出だいで11百万円が減少
- ◆ リース資産が13百万円増加
- ◆ 研究棟建設に伴う建設仮勘定が6百万円増加

## 負債

前期末比+122百万円

- ◆ 賞与引当金の増加59百万円
- ◆ 源泉税等の預り金の増加25百万円
- ◆ 買掛金の増加22百万円

## 純資産

前期末比▲161百万円

- ◆ 利益による増加32百万円
- ◆ 配当金の支払いによる減少189百万円

# 今後の取組み

# 通期計画

(単位:百万円)	FY19 1Q		FY19					
	実績	構成比	計画 (H30/4/20)	構成比	内訳			
					上期 ( )内は進捗率		下期	
					計画	構成比	計画	構成比
売上高	1,288	100.0	5,274	100.0	2,641 (48.8%)	100.0	2,633	100.0
売上原価	515	40.0	1,961	37.2	989 (52.1%)	37.4	972	36.9
売上総利益	772	60.0	3,313	62.8	1,652 (46.7%)	62.6	1,661	63.1
販管費	719	55.9	3,085	58.5	1,498 (48.0%)	56.7	1,587	60.3
営業利益	52	4.1	228	4.3	153 (34.0%)	5.9	75	2.8
経常利益	60	4.7	238	4.5	159 (37.7%)	6.0	79	3.0
親会社株主に帰属する 当期純利益	32	2.6	115	2.2	94 (34.0%)	3.6	21	0.8

# 通期 取り組み

## 売上

- ◆ 新ヘアケアシリーズクラスSの販売に注力

## 原価

- ◆ 子会社売上原価率の上昇を親会社の店販売上でカバー

## 販管費

- ◆ 計画通り進捗中であり、大幅な増減は無い見通し

# 区分別売上計画

(単位:百万円)	FY19 1Q		FY19					
	実績	構成比	計画 (H30/4/20)	構成比	内訳			
					上期 ( )は進捗率		下期	
					計画	構成比	計画	構成比
売上高合計	1,288	100.0	5,274	100.0	2,641 (48.8%)	100.0	2,633	100.0
スキンケア	435	33.8	1,977	37.5	957 (45.5%)	36.2	1,020	38.7
ヘアケア	761	59.1	2,710	51.3	1,391 (54.7%)	52.7	1,319	50.1
その他	175	13.6	948	18.0	461 (38.0%)	17.5	487	18.5
売上割戻金	▲84	▲6.5	▲360	▲6.8	▲168 (▲50.0%)	▲6.4	▲192	▲7.3

# 区分別売上高計画 取り組み

## スキンケア

- ◆ 1Qは計画に対し若干未達。各シリーズ共に動きが鈍化
- ◆ ヘアケアに注力した1Qから今後はスキンケアにマンパワーを一部シフト

## ヘアケア

- ◆ 前期末から注力したクラスSの提案がほぼ一巡
- ◆ 今後は個店に合わせた提案によるフォローアップ

## その他

- ◆ エクシード社は1Qの出遅れを巻き返すための営業活動に注力
- ◆ 海外子会社はスピードよりも着実に面を増やす活動に注力

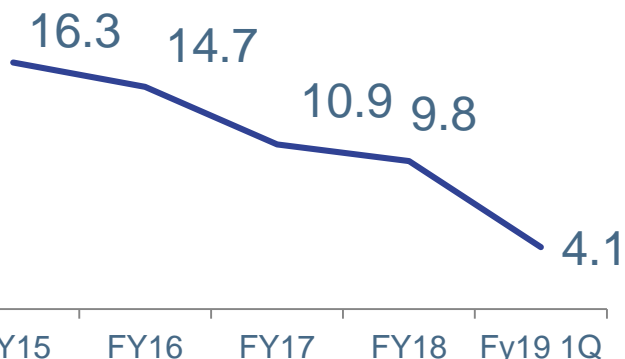
## ～参考情報～



# サマリー 実績推移

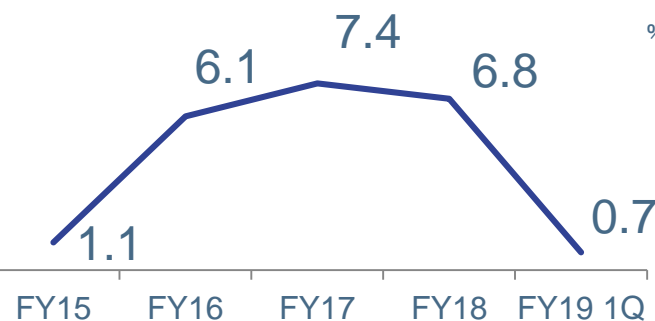
## 売上高営業利益率

%



## ROE

%



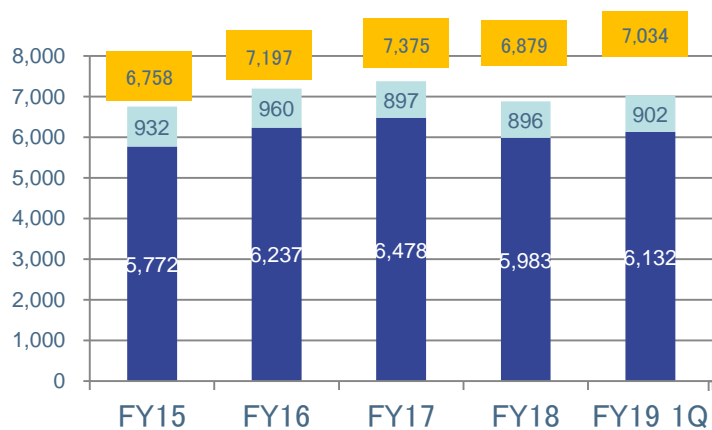
## EPS

円



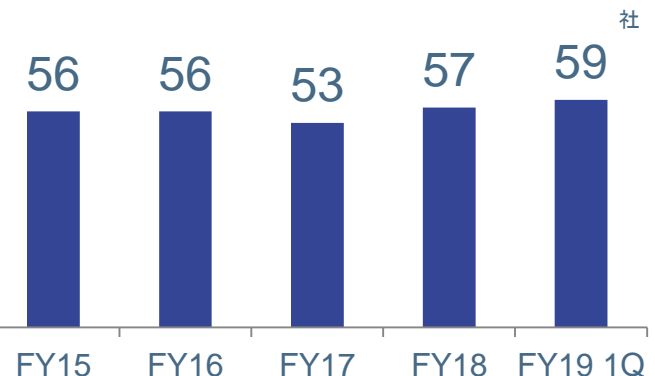
## アジュバンサロン契約数

軒 ■ 直販サロン ■ 代理店サロン ■ 店合計



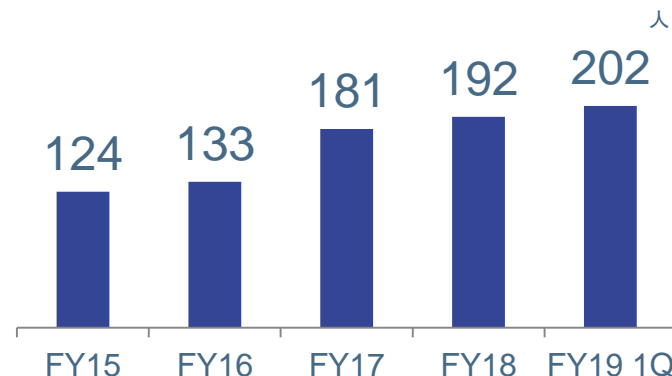
## 代理店数

社



## 従業員数

人





本資料ならびにIR関係のお問合せにつきましては、  
下記までお願いいたします。

株式会社アジュバンコスメジャパン 総務部 IR課

TEL:078-351-3136

FAX:078-351-3138

EMail: [ir-contact@adjuvant.co.jp](mailto:ir-contact@adjuvant.co.jp)

本資料は、当社の現状を理解していただくために作成したものです。

本資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。